

障害者ヒアリング結果整理表

現計画			ヒアリング結果に見る関連する意見					
基本指針	施策の方向性	主要施策	精神障害	身体障害（肢体不自由）	高次脳機能障害	内部障害（ぼうこう・直腸）	発達障害（成人）	
1	身近な地域の支援体制の強化	1-1 知る	多様な方法による情報の提供 障害特性を考慮した情報入手への支援	○ 地域包括支援センターや福祉相談室を知らない人が多い ○ どこへ行けば必要な情報が得られるのか不明				
		1-2 相談する	身近な相談窓口の充実			○ 高次脳機能障害に特化した相談機関の設置 ○ 支援者間での顔の見える関係性の構築	○ 当事者の高齢化に対応した、相談体制の構築 ○ 当事者の孤立防止に向けた取り組み	○ 困りごとを発見して、解決に至る「コンシェルジュ」のような相談支援体制の構築 ○ 障害特性を踏まえた上での相談支援の充実 ○ 気軽に相談できる窓口の設置
			相談支援体制の強化					
		1-3 理解を深める	障害の理解を促す市民啓発の充実	○ 障害に対する周囲の理解促進	○ 店舗等における合理的配慮の一層の推進 ○ 気軽に障害のある人に声をかける雰囲気醸成	○ 高次脳機能障害の障害特性に関する、福祉事業所への啓発事業の実施	○ 市民に対するオストメイトへの理解促進（入浴時の偏見・差別等の防止） ○ 学校現場における、内部障害への理解を深める授業の実施 ○ 当事者が取り組む普及啓発活動に対する、行政サイドからの継続的な協力・支援の実施	○ 障害に対する周囲の理解
福祉教育の推進								
1-4 育てる	障害者福祉に関わる市民活動の充実							
	福祉人材の育成							
2	障害者の健康を支える体制の強化	2-1 すこやかに生きる	障害の早期発見・支援体制の充実 地域医療体制の充実 医療にかかる経済的負担の軽減		○ 医療・福祉の連携による総合的なケアの提供	○ オストメイトになって間もない当事者に対する医療側からのサポートの実施		
		3-1 住まう	多様な住まいの確保 地域で住み続けるための支援の充実 障害者の経済的支援制度の周知					
			3-2 生活する・利用する	日常生活を支援する福祉サービスの充実 障害者の外出支援の充実		○ 日常生活を支えるアシスタント事業の実施	○ 装具等の費用に対する助成の継続・充実	○ 引きこもりでも日常生活を十分生活できるような支援の実施
3-3 人権を守る	権利擁護制度の利用促進 障害者への差別及び虐待防止の普及啓発	○ 「精神障害」=「危険な人」とのイメージ改善		○ 外出時の周囲の視線				
	4-1 働く	就労意欲の高い障害者への支援 障害者雇用の普及啓発	○ 企業等の職員の精神障害に対する理解促進 ○ 多様な働き方の支援のあり方検討（在宅等） ○ 短時間勤務の促進	○ 福祉的就労における給与水準の向上				
4-2 社会参加・交流	多様な活動への支援 障害者自身の活動意欲の向上					○ 本人の余暇の使い方について助言・支援できる仕組みの構築		
	5-1 学ぶ	療育体制の整備 保育、教育における支援の充実				○ 学校における発達障害児に関する理解の促進 ○ 学校における発達障害児本人や親、関係者等を踏まえた上で情報や支援等が共有できる体制の構築		
6-1 安心して暮らす		ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	○ 公共交通機関の利用費用の減免措置	○ 災害時に伝わりやすい情報の発信 ○ 身体障害者も参加しやすい形での避難訓練の実施 ○ 災害時要援護者支援制度の登録手続きの簡素化		○ オストメイトに対応したトイレの増設および使い勝手の改善 ○ 災害時の避難所における「みんなのトイレ」の確保		
	利用しやすい公共交通機関の整備							
	災害から障害者を守る体制の強化							
その他のご意見					○ 立場やニーズを超えて当事者家族がつながる機会の創出			

障害者ヒアリング結果整理表

現計画			ヒアリング結果に見る関連する意見					
基本指針	施策の方向性	主要施策	肢体不自由児・重症心身障害児	発達障害（児童）	聴覚障害	聴覚障害（中途）	視覚障害	
1	身近な地域の支援体制の強化	1-1 知る	多様な方法による情報の提供 障害特性を考慮した情報入手への支援	○ 相談支援の周知・広報（セルフプラン多い）	○ 潜在的に悩みがある保護者にも行きわたるような情報の提供	○ 公共の場での音声以外の案内の実施		
		1-2 相談する	身近な相談窓口の充実				○ 行政の相談対応力の強化	○ 視覚障害に対応した相談体制の構築（自立支援協議会等による対応の必要性）
			相談支援体制の強化					
		1-3 理解を深める	障害の理解を促す市民啓発の充実	○ 健常者の障害者用駐車スペースの利用マナーの改善 ○ 障害者用駐車スペースの少なさや使い勝手の悪さの改善 ○ インクルーシブ教育を通じた障害理解促進		○ 市民に対する聴覚障害への理解の促進	○ 聴覚障害に対する理解の促進 ○ 障害を理解する講習への参加促進 ○ 聴覚障害者にとっての要約筆記の重要性に関するPR強化	○ 視覚障害に対する理解の促進 ○ 公共の通路における障害物除去や自転車マナー等に関する普及啓発の推進
1-4 育てる	障害者福祉に関わる市民活動の充実 福祉人材の育成				○ 派遣可能な有資格者の増員・確保			
2	障害者の健康を支える体制の強化	2-1 すこやかに生きる	障害の早期発見・支援体制の充実 地域医療体制の充実 医療にかかる経済的負担の軽減	○ 訪問診療サービスの充実 ○ 医療的ケア児のための日中一時預かりやショートステイの増加充実・ ○ 医療的ケア対応の生活介護事業所の拡充				
3	障害者の生活基盤の強化	3-1 住まう	多様な住まいの確保					
			地域で住み続けるための支援の充実 障害者の経済的支援制度の周知					
		3-2 生活する・利用する	日常生活を支援する福祉サービスの充実 障害者の外出支援の充実	○ 学齢期から成人期への円滑な移行 ○ 移動支援の対象範囲拡大（通学、通勤） ○ ヘルパー不足に伴う夜間や緊急時の対応	○ 家族（保護者）の介護負担を軽減させるような支援の充実	○ 手話通訳の利用条件の緩和 ○ 聴覚障害向け高齢者サービスの充実	○ 通訳派遣の利用の簡便化、利用条件の緩和 ○ 法人派遣制度の導入	○ 視覚障害者が必要とする日常生活用具の支給
3-3 人権を守る	権利擁護制度の利用促進 障害者への差別及び虐待防止の普及啓発			○ 障害者差別解消法や合理的配慮のより一層の周知	○ 障害特性に応じたコミュニケーションの取り方について理解促進			
4	社会参加と自己実現への支援	4-1 働く	就労意欲の高い障害者への支援 障害者雇用の普及啓発			○ 職場における聴覚障害への理解の促進 ○ 起業を目指す障害者に対する支援の充実		○ 視覚障害者に対応した就労支援体制の構築
		4-2 社会参加・交流	多様な活動への支援 障害者自身の活動意欲の向上		○ 障害の有無にかかわらず、参加しやすいイベントの開催			○ 視覚障害者が参加・活用しやすい生涯学習・スポーツの機会や施設の提供
5	障害のある子どもの成長支援	5-1 学ぶ	療育体制の整備 保育、教育における支援の充実		○ 障害に理解があるよう幼稚園・保育園の設置 ○ 教育機関における障害への理解促進 ○ 教育に携わる人材の質の向上			
6	安全・安心のまちづくり	6-1 安心して暮らす	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	○ 公共交通機関の利便性向上 ○ 施設の建設・設置時に障害者の声反映 ○ 避難所での医療的ケア対応の備え、多機能トイレ・スロープ完備		○ 災害時、緊急時における音声以外の情報提供の実施 ○ 公共機関等におけるトラブル時における電話対応以外の対応方法の充実	○ ヒアリンググループの導入検討	○ 音声案内付き信号の設置の推進
			利用しやすい公共交通機関の整備					

障害者ヒアリング結果整理表

くりの推進		災害から障害者を守る体制の強化		○ 福祉避難所の拡充 ○ 防災訓練の実効性向上						
現計画				ヒアリング結果に見る関連する意見						
基本指針		施策の方向性		主要施策		内部障害（透析）		知的障害		難病
1	身近な地域の支援体制の強化	1-1 知る	多様な方法による情報の提供							
			障害特性を考慮した情報入手への支援							
		1-2 相談する	身近な相談窓口の充実							
			相談支援体制の強化							
1-3 理解を深める	障害の理解を促す市民啓発の充実		○ 透析患者に関する理解の促進 ○ CKD（慢性腎臓病）対策の促進					○ 夜間診て頂ける福祉人材（ヘルパー）の確保		
	福祉教育の推進									
1-4 育てる	障害者福祉に関わる市民活動の充実									
	福祉人材の育成									
2	障害者の健康を支える体制の強化	2-1 すこやかに生きる	障害の早期発見・支援体制の充実		○ 市内で透析ができる医療機関の拡充 ○ 医療機関による通院送迎の拡充 ○ 重度障害者医療費助成制度（マル障）の年齢要件の撤廃				○ 検査等を実施する際のヘルパー支援料金等の軽減	
			地域医療体制の充実							
			医療にかかる経済的負担の軽減							
3	障害者の生活基盤の強化	3-1 住まう	多様な住まいの確保		○ 民生委員の透析患者への対応力の強化					
			地域で住み続けるための支援の充実							
			障害者の経済的支援制度の周知							
		3-2 生活する・利用する	日常生活を支援する福祉サービスの充実						○ 外出時における付き添いの拡充	
			障害者の外出支援の充実							
		3-3 人権を守る	権利擁護制度の利用促進		○ 透析患者に対する偏見の是正				○ 知的障害者に対する偏見等の是正	
障害者への差別及び虐待防止の普及啓発										
4	社会参加と自己実現への支援	4-1 働く	就労意欲の高い障害者への支援		○ 透析に対する職場理解の促進					
			障害者雇用の普及啓発							
		4-2 社会参加・交流	多様な活動への支援							
			障害者自身の活動意欲の向上							
5	障害のある子どもの成長支援	5-1 学ぶ	療育体制の整備							
			保育、教育における支援の充実							
6	安全・安心のまちづくりの推進	6-1 安心して暮らす	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進		○ 透析患者用の非常食等の備蓄 ○ 緊急時における透析可能な施設の提供 ○ 災害時も透析が受けられる仕組みの構築				○ 歩道橋等のハード面での整備の拡充 ○ コミュニティバス等の公共交通機関の増加 ○ 交通マナーの徹底	
			利用しやすい公共交通機関の整備							
			災害から障害者を守る体制の強化							

障害者ヒアリング結果整理表

その他のご意見			
---------	--	--	--